



伝えたい！伝わって嬉しい！

天気の良い日にテラスに出てタライを使って水遊びやプール、室内では寒天や春雨、スズランテープなどの感触遊びやシール貼りなどで指先を使った遊びを楽しんでいます。

牛乳パックで作った大きな寒天を丸ごと机の上に出すとひんやりとした感触を手のひらや指先で味わって、指先に力を入れて握り潰してみるとぽちゅのみんな。潰れるかな？どうか？とちょっとドキドキワクワクしながら指先の力加減をコントロールしたり、どんどん小さくちぎってみたり色んな遊び方を見つけながら楽しみました。



冷蔵庫で冷やした春雨あそびでは色水や氷なども追加していくとラーメン作りが始まりました。スプーンなどを使いすくったり移し替えたり、「どうしたらうまくできるかな？」と試行錯誤したり指先だけでなく手首も使ってコントロールしながら楽しみました。取り組んでいる表情は真剣そのものです！

2歳児さんは手のひらで感触を楽しむだけでなく、お友だちと分け合いっこをしたり協力しながら虹色のかき氷作りが始まりました。「はいどうぞ！」と職員に配達し、「これはレモンの味」と会話をしながらごっこ遊びへと発展しました。1歳児さんはお友だちの真似っこをしながら顔を見合わせ「つめたい？」などと共有することを楽しみました。2歳児さんの遊びを見てやってみようという挑戦する姿もあり、異年齢で一緒に過ごしているみかんの家の良さが見られました。



始めは寒天や春雨などの素材を楽しむ子どもたちですが、感じたことや思いを伝えようとだんだん会話が増えていくのがとても印象的でした。子どもの『伝えたい』の思いを大切に受け止め、その時感じた事や考えを言葉にしていくことで、伝わる嬉しさをたくさん感じられる日々にしていきたいですね。

あひるチームでは指先を使って遊ぶ時間も大切にしています。クレヨンを握って自由に描いたり、指先で小さな物をつまんだり、積み木を握って持ち上げたり重ねたりする経験は手指の筋肉や指先の感覚を育てます。今はつまむ、入れる、積むといった一つ一つの動きを楽しんでいる時期ですが、こうした遊びの積み重ねがこれからのスプーンやフォークを使う、衣服の着脱など生活や遊びの中で必要になる様々な手指の動きへと繋がっていきます。また遊びの中で「できた！」という瞬間には嬉しそうな表情を見せたり、保育者の顔を見て喜びを伝えようとする姿があります。「もう一回」と繰り返しを求める姿からは「自分の思いを伝えたい」、そして「伝わった！」という嬉しさを感じていることが伝わってきます。できた喜びを誰かと共有する経験やもう一回やりたいという気持ちは、遊びへの意欲だけでなく、人との気持ちを通わせることにも繋がっていきます。手指を十分に動かす経験を重ねるとともに、気持ちを共有する時間を大切にしていきたいと思います。



9月の目標

- ・保育士や友だちと簡単なやり取りや触れ合い遊びを楽しもう
- ・気温の変化に気を付け心地よく過ごそう